

精魂込めて

安全な登下校について



川之江南中学校には広い地域から多くの生徒が通学しており、自転車での登校の姿が見られます。また、朝の登校時間帯には、学校周辺の交通量が大変多くなる状況でもあります。正門近くの上分郵便局前交差点では、教職員と生徒による当番制で交通整理を毎日行っており、多くの車両が徐行してくださるなど、安全確保へのご協力をいただいております。今年度、大きな事故等なく安全な登下校が行えています。地域の皆様や交通安全協会の方々、各種の旗当番の皆様の見守りにも、心より感謝申し上げます。

しかしながら、自転車や徒歩で通学する生徒にとっては、一つの転倒や接触が重大な事故につながる危険性があります。心配事は尽きません。自転車の運転の仕方によっては、自らが被害者となるだけでなく、加害者となり責任を問われる場合もあります。最近では髪型の乱れなどを気にして、ヘルメットを浅くかぶる生徒の姿も見受けられます。ヘルメットは命を守る大切なものですから、「正しく着用すること」が何より重要であることを改めて指導している状況です。

学校としては、「朝、お家を出発したときのままの姿で、無事にご家庭にかえす。」ことを大きな責任と受け止め、安全指導を丁寧に継続してまいります。ご家庭におかれましては、日頃から登下校時の安全についてお声掛けと見守りをお願いいたします。

なお、自転車の安全利用について、改めて次の点の徹底をお願いいたします。

自転車安全利用の主な約束

1. 車道では、左側を通行する。
2. 交差点では、信号や一時停止を必ず守り、十分な安全確認を行う。
3. 夜間は早めにライトを点灯させる。
4. ヘルメットを正しく着用する（頭全体を守るためにあごひもをしっかり締める）。
5. 飲酒運転は絶対にしない（そもそも、中学生の飲酒は法律で禁止されています）。
6. ながら運転はしない（スマートフォン操作、イヤホン・ヘッドホン使用、傘差し運転などは禁止）。

やってはいけないヘルメットのかぶり方

- 浅くちょこんとかぶる（おでこが出る）。 ● 帽子みたいに後ろにずらす。
- 横にずれている（格好も良くない）。 ● あごひもをしめない、ゆるいまま。

※こんなことをしていると、事故のときに意味がなくなります

中学生の交通事故は、「慣れ」が一番の危険とも言われています。毎日通う道だからこそ気の緩みや油断が生まれやすくなります。特に朝の慌ただしい時間帯には、「急ぐ気持ち」「大丈夫だろうという判断」が重なり、事故につながるケースが多く見られます。

ご家庭でも、「いつもの道こそ危ない」という視点で、お子様と一緒に安全について今一度確認していただければ幸いです。